

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	ひとり親家庭学び直し支援事業	開始 年 度	平成28年度
団 体 名	個人補助（ひとり親家庭の親および児童）	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☐ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業実施要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	ひとり親家庭の親および児童が、より良い条件での就業や転職へつなげるため、民間事業者などが実施する対策講座の受講費用の軽減を図るため、受講開始時給付金および受講終了時給付金、合格時給付金を給付する。（受講開始時給付金は、支給対象者が対象講座の受講を開始した際に支給し、受講終了時給付金は、支給対象者が対象講座の受講を修了した際に支給し、合格時給付金は、受講終了時給付金を受けた者が受講終了日から起算して2年以内に高卒認定試験の全科目に合格した場合に支給）
目 的	（目 的） 高等学校を卒業していない「ひとり親家庭の親および児童」が高等学校卒業程度認定試験合格をめざし、民間事業者などが実施する対策講座を受講する場合の費用の軽減を図るために給付金を支給することにより、「学び直し」を支援することを目的とする。
・ 効果	（効 果） 高等学校卒業程度認定試験合格により、大学等への進学が可能となるほか、国家資格の取得など、より良い条件での就業や転職へつながる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収 入	R4 (決算)	95 [95]						95 [95]
	R5 (決算)	27 [27]						27 [27]
	R6 (決算)	0 []						0 []
	R7 (決算)	0 []						0 []
	R8 (予算)	150 [150]						150 [150]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	R4 (決算)			95 [95]				95 [95]
	R5 (決算)			27 [27]				27 [27]
	R6 (決算)			0 []				0 []
	R7 (決算)			0 []				0 []
	R8 (予算)			150 [150]				150 [150]

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	ひとり親家庭学び直し支援事業
----------------	----------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献 する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	近年の厳しい経済状況の中、ひとり親家庭の母等は、生計を支えるための十分な収入を得ることが困難な状況にある場合が多く、就業支援を含めた自立支援策が求められており、国のひとり親家庭高卒認定試験合格支援事業に則り実施している。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	ひとり親家庭等の就業支援策として、高卒認定の合格のための講座を受講する場合の負担軽減を図ることは必要であるため。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☐	☐	国のひとり親高卒認定試験合格支援事業に則り実施しており、自主性の視点は当該事業に合致しない。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☐	☐	国の事業に基づき実施しており、最適な方法である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	ひとり親家庭学び直し支援事業
----------------	----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
受講者全員が講座を修了し, 高等学校卒業程度認定試験に合格することを目標とする。
(達成状況)
令和3年度: 実績なし 令和4年度: 受講開始時給付金1件, 受講修了時給付金1件 令和5年度: 合格時給付金1件



(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐	高卒認定の補助金により, 就職意欲の向上に繋がっている。
一定の効果をあげている ☒	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) ひとり親家庭等の就業支援策として, 高卒認定の合格のための講座を受講する場合の負担軽減を図ることは必要であるため。
☐ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	
(見直しの時期)	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 10 年度	☒ 終期到来時に再検討	令和 10 年度